

## 財務ハイライト

### 営業収益

(単位：百万円)



### 経常利益

(単位：百万円)



### 当期純利益

(単位：百万円)



### 総資産

(単位：百万円)



### 純資産

(単位：百万円)



### 1株当たり当期純利益

(単位：円)

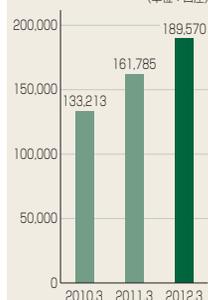


※営業収益には、消費税は含まれておりません。

## 事業データ

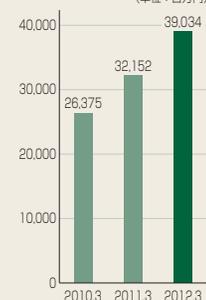
### 顧客口座数

(単位：口座)



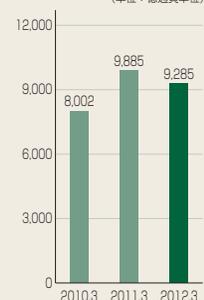
### 顧客預り証拠金

(単位：百万円)



### 外国為替取引高

(単位：億通貨単位)



## 会社概要 (2012年3月31日現在)

商号	株式会社マネーパートナーズグループ
URL	<a href="http://www.moneypartners-group.co.jp/">http://www.moneypartners-group.co.jp/</a>
本社所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号
代表者名	代表取締役社長 奥山 泰全
設立	2005年6月10日
資本金	17億8,622万円
従業員数	17名 (連結：118名)
関係会社	株式会社マネーパートナーズ 株式会社マネーパートナーズソリューションズ
事業内容	持株会社としてグループ全体の株式を保有することにより、当社グループ全体の経営戦略、経営管理機能を行っています。

## 株主メモ

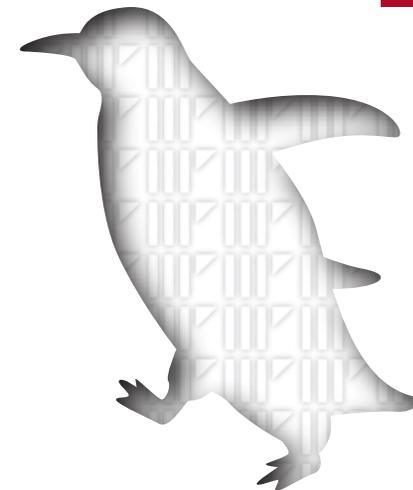
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	3月31日 その他基準日を定める場合は、あらかじめ公告します。
配当金受領株主確定日	3月31日
期末配当金	9月30日
中間配当金	電子公告 <a href="http://www.moneypartners-group.co.jp/">http://www.moneypartners-group.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告方法	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
事務取扱所	みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

### (ご注意)

- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 配当について

当社は利益還元に関し、株主の皆様のご期待とご支援に一層応えてまいりたいとの考えから、継続的かつ適正な利益還元を経営の重要課題と位置付けています。具体的には、年間の配当性向の目標を連結当期純利益の30%とし、中間配当及び期末配当の年2回実施することとしています。  
2012年3月期の期末配当につきましては、上記の方針に基づき、1株当たり250円(年間配当額は中間配当と合わせて350円)とさせていただきます。



## 第8期 営業のご報告

(2011年4月1日～2012年3月31日)





株式会社マネーパートナーズグループ  
代表取締役社長 奥山 泰全

ごあいさつ

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに当社グループの第8期事業年度（2011年4月1日～2012年3月31日）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当事業年度におけるFX（外国為替証拠金取引）業界を取り巻く環境は、2010年8月に続き2011年8月に実施されたレバレッジ規制によるいわば「総量規制」の影響や、また、外国為替市場においてもFXの主力通貨ペアである米ドル/円の年間平均ボラティリティ（変動率）が過去10年間における最低水準を記録したように、ボラティリティの低下が個人投資家の投資意欲に悪影響を与えるなど、非常に厳しい逆風のなかでの1年となりました。当社グループの業績は、これらの影響を受け低迷いたしておりますが、一方で顧客基盤の拡充やコスト節減、効率化にも大いに取り組み、黒字を維持することが出来ました。

FX業界は、業界における自主規制団体を中心としてより高い透明性や公正性を求める方向での取り組みを継続しており、また、企業の海外シフトや実需ニーズを背景に、FXはより一般に利用されるサービスへと着実に変化してきております。

当社の業績が外国為替市場等の影響を受ける状況は変わっておりませんが、FXがより一般化する流れの中、さらなる顧客基盤の拡大を目指すことにより業績の回復に努めてまいります。

また、本年5月28日に東京証券取引所市場第二部へ上場し、同取引所と大阪証券取引所（JASDAQ市場）の2市場において当社株式の売買が可能となりました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様のおかげでのご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

株主並びに投資家の皆様におかれましては、規制を越えなお成長をし続けるこの大きな発展性と成長のチャンスを持つFXというマーケット、そして外国為替に関する実需取引を通じた社会インフラを目指す当社グループの未来にご期待いただきたく、今後とも何卒、叱咤激励とともにご指導ご鞭撻をお願いする次第でございます。

株主の皆様には一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループは近年注目が高まってきている外国為替証拠金取引（FX）事業をビジネスの基軸とし、2007年にFX専業業者としては初めて株式の上場を、さらに2012年5月には初めて東京証券取引所本則市場への上場を実現いたしました。

外国為替証拠金取引の専門企業集団としての強みを活かすことにより、お客様に愛され信頼される企業グループとなること、それが私たちのビジョンです。

今後、外国為替証拠金取引への注目度がますます高まっていくと同時に、競争環境が一層厳しさを増すと予想される中、私どもは最善を尽くし、創造性を発揮し、より多くのお客様のより良きパートナーとして受け入れられるよう努めてまいります。

デリバティブ取引としての側面と外国為替の実需取引としての側面を併せ持つFXにはまだまだ大きな可能性があります。

これからのマネーパートナーズグループに、どうぞご期待ください。

当社グループが目指すもの

# DON'T STOP!

当社グループは「Don't Stop!」を社是とし、企業理念である「カスタマーファースト」「バリューアップ」「イノベーション」「コンプライアンス」の四つの基本コンセプトの実現に向けた取組みを継続的に実行し、かつ「とまらない」ことを会社経営の基本方針としております。



Q

通期の経営環境と業績について説明してください。

A

当事業年度の外国為替証拠金取引は、レバレッジ25倍規制や外国為替相場のボラティリティの低下等の影響を受け、業界全体の外国為替取引高が前期比約9%の減少となるなど、非常に厳しい環境にありました。

このような中、当社グループは、カバー取引の効率化を背景により競争力のあるスプレッド（お客様に提示する価格）の提示やスマートフォンに対応した取引ツールのリリースをはじめとする営業施策の実施により、外国為替取引高の確保に努めました。この結果、当社グループの外国為替取引高は9,285億通貨単位と前期比約6%の減少にとどまった他、顧客基盤についても顧客預り証拠金が前期末比約20%増加の39,034百万円となるなど一定の成果を得ることができました。一方、営業収益は、スプレッド競争をはじめとする業界内の競争激化等の影響により取引高当たり収益性が低下したことから、7,671百万円（前期比14.6%減）となり、これに伴い営業利益は549百万円（同45.9%減）、経常利益は527百万円（同46.7%減）、当期純利益は337百万円（同34.4%減）となりました。

#### ■ 当期の連結業績

■ 営業収益	7,671 百万円
■ 経常利益	527 百万円
■ 当期純利益	337 百万円
■ 総資産	51,906 百万円
■ 純資産	9,701 百万円
■ 1株当たり 当期純利益	1,121 円 12 銭

Q

当社独自のサービスについて説明してください。

A

昨年3月から開始している成田空港での外貨紙幣受取は好評を博しており、投資取引に限らずより多くの実需ニーズの観点からも当社グループの顧客基盤の拡大が見込める状況となっております。

また、同業他社と比べ高い約定率を維持した上でスプレッドの向上に努めるとともに、初心者のお客様によりご利用いただきやすいよう100通貨単位の取引を導入するなどの商品性向上に努めており、さらに、株式等の有価証券を担保としたFX取引を可能とするなど顧客のより一層の利便性の向上に努めてまいりました。その他、急速に普及するスマートフォンなどの次世代端末への対応もしっかりと行ってきております。

Q

ボラティリティと外国為替取引高の関係性について教えてください。

A

外国為替証拠金取引は、例えば外国為替相場が割安であると判断されれば買い、割高であると判断されれば売りというように、取引のサイクルが長期であると短期であるとかかわらず、相場の変動をきっかけに取引が行われる傾向をもっております。

このため、当社グループの業績に大きな影響を与える外国為替取引高は、外国為替相場の変動状況と一定の相関関係を有しており、ボラティリティが高まれば個人投資家の取引機会が増加することから外国為替取引高は増加する傾向があり、ボラティリティが低下すれば取引機会が減少することから外国為替取引高も減少する傾向があります。なお、外国為替相場のボラティリティ以外に外国為替取引高に影響を与える要素として、外国為替のトレンドや円安・円高等の相場水準等、個人投資家の投資マインドに影響を与える事象も考えられることから、ボラティリティと外国為替取引高の相関関係には一定の例外があります。

Q

BCPを含むインフラ・設備投資に関してどうお考えですか？

A

当社グループのサービスは、現在約20万口座のお客様にご利用いただいております。インターネットを通じて24時間為替取引を提供する企業グループとして、外国為替取引システムの安定稼働をはじめとするサービスの継続的な提供は極めて重要であると考

えております。このため、一時に大量の取引が集中した際にも十分にお客様にサービスをご提供できるよう、適切なキャパシティプランニングに基づくシステムの増強や改良に努めるとともに、不測の事態に備えシステムの二重化やバックアップ態勢の構築等の取り組みを続けております。また、昨今の電力不足の懸念に対しては、サービス提供の拠点における自家発電による供給電源を確保し、万一の場合にもサービスが継続できるよう努めております。今後も、業界随一と言えるシステム基盤と態勢を確立することによりお客様に安心と信頼をご提供し続ける所存です。



Q

CSRについてどうお考えですか？

A

当社は、企業として社会・環境・経済に対してパフォーマンスの取れた経営を実践し、企業の社会的責任を果たしていくことを常に意識しております。

当社グループは、2005年9月1日より、少額ながらも毎月継続して国際NGO組織である公益財団法人オイスカに寄付することで環境保全活動の支援をいたしております。また、2011年3月11日に発生した東日本大震災に関して、被災者の方々への支援や被災地の復興事業の支援を目的として、日本赤十字社を通じた義援金の寄付や東北復興支援ファンド社債の取得を行っております。

Q

FXの成長性について説明してください。

A

日本企業の海外シフトやボーダレス化が進む中、我々日本人もますます国際化を余儀なくされつつある状況であるものと認識しております。

当事業年度の日本国内全体のFX取引高はボラティリティの低下やレバレッジ規制の影響もあり前期を下回りましたが、このような流れの中、FXは今後、投資取引にとどまらず、実需においてもより一般的に利用され、その裾野は引き続き拡大していくものと考えております。当社グループは、今後もFXへの真摯な取組みを通じて、FXの成長とともに、公正であり高い透明性を持つ、またお客様に信頼される企業グループとして確固としたプレゼンスを築きあげてまいりたいと考えております。

TOPICS

4/4 パートナースFXnano サービス拡充

パートナーズFXnanoは「全通貨ペアスプレッド1銭」、「週を越えてのロールオーバー可能」など、大幅な仕様変更を行いました。取引単位を100通貨単位として証拠金を少額に抑えるだけでなく、スプレッドを全通貨共通で1銭とするなど手軽さやルール分かりやすさで、特にFX初心者の方に好評をいただいております。



5/21 9/17 各種取引ツールのバージョンアップ

5月、取引ツール『HyperSpeed NEXT』がバージョンアップし、バックテスト機能における複数パラメータを同時に実行できる機能等が追加されました。9月にはパフォーマンスが向上し、チャート画面と注文画面の連動機能等も実装されました。今後は、売買注文をコンピュータに自動執行させるシステムトレード機能を搭載する予定です。



10/18 『HyperSpeed Touch』公開!

パートナーズFX対応のスマートフォン用FX取引アプリ『HyperSpeed Touch』の公開が、『App Store』及び『Android Market』(3月7日『Google Play』に改名)にて開始されました。マネーパートナーズの口座をお持ちでない方も、リアルタイムレート・テクニカルチャート等を無料でご利用いただけます。シンプルなのに高機能、最小限のアクションで全てを実行できる快適な操作性で提供しております。



3/1 通貨ペアのスプレッド縮小、恒常化

米ドル/円のスプレッドを業界最安水準となりませう「0.5」銭で原則固定にて提示しております。



3/30 外貨両替・受取サービスに2通貨追加!

「外貨両替・受取サービス」において、3月30日よりイギリスポンド・スイスフランの2通貨が追加されました。



2011

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2012

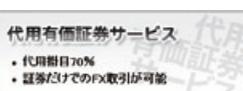
1

2

3

7/25 代用有価証券サービス 掛目70%へ

パートナーズFXの建玉必要証拠金を有価証券で代用できる「代用有価証券サービス」における評価掛目(換算率)を従来の50%から70%へと拡大しました。これにより今まで以上に良い資金効率でFX取引ができるようになります。



8/13 証券取引サービス拡充

名証上場銘柄の取扱い開始や単元未満株の代用評価開始等、当社証券取引のサービスが拡充されました。これにより、代用有価証券サービスの使い勝手が向上し、当社証券取引サービスそのものの利便性も高まりました。



8/1 レバレッジ規制施行 (25倍)

2010年8月1日に施行された「金融商品取引業に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令(いわゆる「レバレッジ規制」)」に設けられていた1年間の経過措置(取引額の2%以上・最大レバレッジ50倍)が終了し、2011年8月1日より取引額の4%以上(最大レバレッジ25倍)の証拠金の預託を受けることが義務付けられました。



8/22 CFD取引 取扱い開始!

金/米ドル、銀/米ドルの2銘柄を対象としたOTC(店頭相対取引)によるCFD(差金決済取引)である、「CFD-Metals」の取扱いを開始しました。「CFD-Metals」の特徴として、「取引手数料が無料」「1日の取引時間が23時間」「売りからも参入できるので下落相場でも収益チャンスがある」「ボラティリティ(変動性)が高く、収益チャンスが多い」「対象銘柄の金・銀は、工業品・宝飾品としての需要が高い注目銘柄」等があり、優れた商品性で提供しております。



3/29 モータースポーツSUPER GT300「Team JLOC」の公式スポンサーに!



(株)マネーパートナーズは、モータースポーツSUPER GT300における「Team JLOC(ジャパン・ランボルギーニ・オーナーズ・クラブ)」の公式スポンサーになりました。3月30日の開幕戦より全9戦の熱き戦いを応援します!